

- 参考資料 -



Oリングの保管方法について

ゴム材質のものは、包装状態のまま低温で保存すれば著しく寿命が伸びるので、空気の流通の少ない冷暗所に保存してください。米軍の規格ANA Bulletin No.438には38℃以下を推奨し、52℃以上には絶対にならないよう規定しております。

なお、参考までに保存性についてJIS B 2401では、老化試験から保存状態を次のように推定しています。ニトリルゴム(NBR)の場合100℃で70時間の老化は常温(23℃)の6年以上、天然ゴム(NR)、スチレン・ブタジエンゴム(SBR)などは3年以上の保存状態に相当すると考えられ、120℃で70時間の老化はニトリルゴムの場合10～20年の保存状態に相当するとしている。

特殊フッ素ゴム材料の製品の保存については正確な記述文献が見当たりません。その卓越した性能を考慮すると上記文献記載の合成ゴムをしのぐ保存性が期待できますが、暗所、涼しい場所、ポリ袋の中に入れておく等が好ましい保存になります。